

ERDE Zeitung

vol.21

足と靴の相談室エルデ
〒161-0031
東京都新宿区西落合3-20-9
Tel.&Fax. 03-3954-3636
URL : <http://www.erde.jp>
E-mail : office@erde.jp

たいへん厳しい暑さの続いたこの夏でしたが、コオロギの鳴き声とともに、一気に秋の気配となりました。

今年はこの暑さにもかかわらず、ご来店のお客様がたいへん多く、忙しい夏となりました。

お友達やご家族のご紹介、あるいは医師や鍼灸、接骨院等の先生方からのご紹介も多く、コンフォートシューズ店が珍しくなくなった反面、より本物の技術を求めて高い期待を持って来店される方が増えています。

ご期待に充分お応えできるよう、さらに技術を高める努力を重ねたいと思っております。

お便りの中から…

今年も、会員の方々からは、たくさんの暑中見舞いや近況報告をいただきました。

いつもご丁寧に、ありがとうございます。

いただいたお便りの中には、多くの方々の参考のために、是非ご紹介させていただきたいものもたくさんあります。そんな中のひとつです。

3年前の夏からご来店いただいている70代のAさんです。

外反母趾の変形が大きく、また、足底から脛部にかけての痛みで悩んでおられました。

この6月、2年ぶりに6ヶ月チェックに来て下さいましたが、まだ脛部の痛みが改善しない、とのこと。また、靴のアーチサポートも合っていない感じ、とのことでした。

靴を拝見すると、履き口が伸びて、紐を結んだまま着脱しておられた様子。

もう一度、靴の正しい履き方をご説明して、靴の後ろに踵をきちんと合わせて、甲全体で紐を締めていただくようお願いしました。

「あら、紐はその都度結ばなければいけなかったのですね。こんなにきゅっと締めるんですね。すっかり忘れていました」とのお話。

きちんと結んで歩いていただいたところ、履き心地が全然違う、これで痛みがずいぶん良くなりそう、と喜んでお帰りになりました。

その数日後、修理の靴と一緒にいただいたお便りです。

正しく靴ひもを締めていただいたら、足の痛みがずいぶん違い、びっくりしました。久しぶりに帰ってとてもよかったです。嬉しくなりました。この靴も修理よろしくお願ひします。

このように、長年の習慣というのはなかなか変えられないものですね。

初回のご相談時と一足目のお渡しの時に、靴の正しい履き方を徹底していただくようお願いしているつもりですが、紐を結んだまま脱ぎ履きしておられる方が結構いらっしゃいます。

紐が緩んだまま歩けば靴の中で足が滑り、疲れやすいだけでなく、せつかくの補正や足底板の効果も期待でき